

これまででも、これからも!

湾岸諸国ってサッカーW杯の予選では国名を聞くけど…と思っているそのあなた。
湾岸諸国と日本には実はこんなつながりがあるんです。

友好関係を知る、主な出来事



1935 オマーン王家と日本は関係が…とある愛の物語

カブス国王の先々代のタイムール国王は退位後に日本に定住し、日本で出会い恋に落ちた日本人女性と結婚しました。このようなオマーン王家と日本のつながりも親日国家たる由縁かもしれません。



写真提供:内閣広報室 写真は2018年1月安倍総理オマーン国訪問の様子 右がカブス国王

1939 「そよかぜ」号に乗って 日本からイランへの旅路

当時のイラン皇太子の成婚を祝うため、日本政府は国産飛行機「そよかぜ」号をイランに向けて訪問飛行させました。「そよかぜ」はペルシャ語で「ナシーム」といい、東から吹く「ナシーム」はよい知らせを意味するといわれています。素敵なエピソードですね。



[JACAR(アジア歴史資料センター)Ref.A06031065000 写真週報61号]

1978 アブダビに日本人学校 開校 いまでは現地児童も通学!

1978年に開校したUAE日本人学校ですが、2006年からUAE人の生徒を受け入れている世界でも珍しい日本人学校です。UAE人としてのアイデンティティを持ちながら、日本語や日本文化を理解し、日・UAEの二国間関係に貢献する人材を育てる、同国の歴史的な取組の一環です。

2005 ある日本の村とサウジアラビアの物語 愛知万博での出会い

愛知県豊根村は、2005年の愛・地球博での「一市町村一國フレンドシップ事業」をきっかけに、サウジアラビアとの交流を続けています。サウジアラビア人留学生を豊根村に招待するなど、住民の皆さんがアイデアを出し合いながらさまざまな取組を行っています。留学生の宿泊受け入れを担当する旅館の女将さんは、自らイスラム文化を学びイスラム教に則った食事を提供し、留学生からは「日本のお母さん」と呼び慕われています。その姿は、まさに「グローバル」です。



愛知万博サウジアラビアデーでサウジアラビアのゲストと村の子どもたち(2005年9月)

2017 March

サウジアラビア国王訪日

「日・サウジ・ビジョン2030」での協働

Pick UP!

王様がやってきた! 46年ぶりのサウジアラビア国王訪日は、王族や政府関係者など、約1000人が随行する大訪問団! 高級ホテルの予約ぶりや高級ハイヤーが列をなす様子を報道で目にした人も多いでしょう。

「脱石油依存経済」に向け大胆な改革を行っているサウジアラビアと日本は、「日・サウジ・ビジョン2030」の下、協力していくことを発表しました。中東に馴染みの薄い日本人にとって、サウジアラビアという国を知る良いきっかけとなった出来事でした。



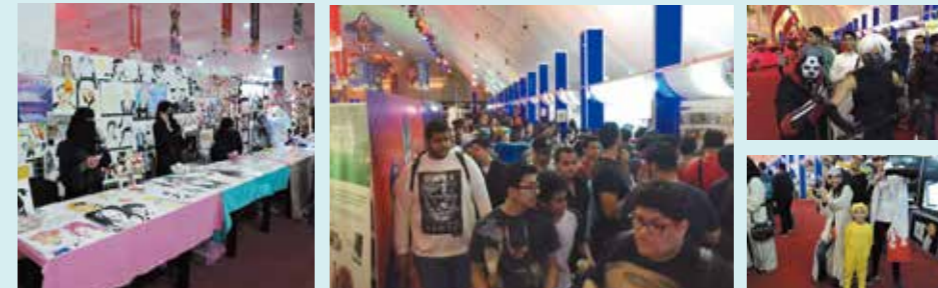
写真提供:内閣広報室

2017 April

世界に広がる日本文化

アニメ・マンガで繋がる文化交流 サウジアラビア・イラク編

湾岸諸国でも日本文化を紹介するさまざまなイベントが開催されています。その1つが、マンガや映画、ゲームなどのポップカルチャーのイベント「コミコン」です。同イベントには数千人が参加。若者がコスプレをする場面も! 娯楽産業の促進に向けた取組として歴史に刻まれました。



▲自らのイラストを披露するサウジアラビア人女性アーティスト ▲各ブースに足を運ぶ来場者。特に日本関連ブースが人気 ▲コスプレを楽しむサウジアラビア人

Pick UP!

「日・サウジ・ビジョン2030」 サウジアラビアと日本の協力の確認

2016年、サウジアラビアが発表した「サウジ・ビジョン2030」は、石油依存からの脱却と経済発展、社会変革を実現するための長期成長戦略です。

2017年のサウジアラビア国王の訪問に際して、日本とサウジアラビアは「日・サウジ・ビジョン2030」を発表。官民の垣根を越えた、幅広い分野での協力をさらに加速させています。

協力に向けた3つのキーワード

- 多様性: 幅広い産業育成を進めることで、持続的な成長を達成
- 革新性: イノベーション(技術革新)の促進
- ソフトバリュー: 社会・文化面の活動の活性化

協力的分野

- | | | |
|------------------|-----------|-------------|
| ①競争力のある産業 | ④健康・医療 | ⑦中小企業の能力開発 |
| ②エネルギー | ⑤農業・食料 | ⑧文化・スポーツ・教育 |
| ③エンターテインメント・メディア | ⑥質の高いインフラ | ⑨投資・ファイナンス |

な～るほどメモ イスラム教・食べ物編

豚肉を食べたらいけないの?

イスラム教では豚肉を食べることは禁止されています。厳しい暑さの砂漠では食に対する危険性が非常に高く、その中で豚はさまざまな病原菌を保有していたため、**伝染病の原因**となることが多かったことが1つの要因といわれています。豚肉だけではなく、死肉や血液などを食することも禁止されているのは**ムスリムの命を守るため**という説があります。

ハラール、知ってますか?

最近この言葉を耳にする人も多いのではないのでしょうか。**ハラール**は、イスラム教徒が食べて良いもの、イスラム法において合法なものをさします。**ポークエキス、ゼラチン、豚脂などが含まれていないもの**には食べ物だけでなく、加工品や化粧品でも「ハラール」が明記され、イスラム教徒(「ムスリム」)が利用しやすくなっています。



Pick UP!

「2011年 東日本大震災」 日本に向けた湾岸各国のさまざまな支援

- クウェートは日本との団結を示し原油と義援金を提供。この支援に対し各地では、義援金で再建した施設等にクウェートの名を冠して感謝の意を表しています。
- カタールは「フレンド基金」を設立し復興プロジェクトを実施。また、LNGを提供。日本の復興に向けた歩みを、共

に手を携え進めてゆく友でありたいというカタルの願いと意志が込められた支援プロジェクトです。

- オマーンは世界第4位の義援金を寄付。政府要人や企業がチャリティイベントを呼びかけ、国を挙げて日本を支援しました。